

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

楠まちづくり新聞

2月12日(金)に危機管理課より「河内長野市の災害対策」についての説明を受けています。

事前に「つながる会」が用意した質問事項に答えていただくという形で説明会は進みました。

つながる会
発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正憲

最新の災害対策

つながる会が用意した質問事項

- ① 災害対策本部の体制・機能
- ② 災害情報の収集体制
- ③ 住民への災害情報の周知伝達方法
- ④ 楠小学校区内の避難所の状況
避難施設、収容人員、収容区分、職員配置
- ⑤ 市内の福祉避難所の状況
避難施設、避難施設との契約状況
- ⑥ 市が保有する災害用備蓄品の状況
- ⑦ 住民に対する備蓄品の指導状況
- ⑧ 避難行動要支援者名簿の取り扱い
今後の名簿追加等
自治会、自主防災会に対する指導
- ⑨ 自主防災会に対し、市は何を期待する
今後の自主防災組織の在り方
- ⑩ その他
仮設住宅

今回は一番身近な関心事である質問④の楠小学校区の避難所について取り上げます。

楠小学校区は平成26年3月末の時点で約5千所帯で約1万2千人の方が住んでいます。

災害発生時には近接する地域でも避難行動を起こしているため、大勢の人が動き回り情報が錯綜し取るべき行動が不安定になります。

今一度、下記の避難先を確認し取るべき行動を考えてください。さらに昨年夏の避難訓練に参加された方は訓練時に取った行動を思い出し、廻りの人と確認してください。

危機管理課より頂いた資料は「つながる会」ホームページに掲載していますのでインターネットを使ってダウンロードしてお使いください。

質問④ 楠小学校区内の避難所の状況

楠小学校区内の避難所については、指定一時避難地として「松ヶ丘公園」を、指定避難所として「楠小学校」を、協定避難所として「大阪暁光高校・千代田短期大学」と協定を締結しています。

収容可能人数については、指定と協定を合わせ1,845名と想定しています。

◆楠小学校区内の避難所状況

	避難所名	収容可能面積	収容可能人数	屋外面積
(指定) 一時避難地	松ヶ丘公園			5,800 m ²
(指定) 避難所	楠小学校	2,213 m ²	1,106名	14,616 m ²
(協定) 避難所	大阪暁光高校	810 m ²	405名	5,800 m ²
(協定) 避難所	大阪千代田短大	668 m ²	334名	4,220 m ²

平成28年度総会の案内
6月5日(日曜日)
19時～ 松ヶ丘集会所

地域まちづくり シンポジウム

河内長野市内で発生する地域特有の課題に対して、市民が自ら解決に取り組む「まちづくり協議会」が現在11小学校区で設立されています。

2月13日(土) 11小学校区の「まちづくり協議会」のメンバーが各地域の取り組みなどの情報共有を行うとともに、多くの方に協議会の活動を知っていただくため、一堂に会して「地域まちづく

りシンポジウム」をキックスにおいて開催しました。

11のブースが会場一杯に用意され、各協議会が作成したパネル展示により日頃の取り組み内容が紹介されました。

参加者はそれぞれ会場内を自由に移動し各パネルを見学、各ブースの前ではお互いに課題に対して意見交換を行いました。



会長による取り組み内容の紹介



15時過ぎからは全員で集中討議をし市政アドバイザーより各協議会に共通する五テーマについて助言をいただきました。

- ・ 広報
- ・ 人材
- ・ 防災
- ・ 歴史・文化
- ・ 子ども見守り

平成28年度からの計画である河内長野市第5次総合計画の中に「より地域の実態に合った個性ある地域づくりを市民主体で進めていく」ための地域別計画が各地域単位で策定されています。

今後、地域が一体となつてまちづくりが進んでいくと期待し、シンポジウムは締めくくられました。



http://ksrd.jp/guidemap/12_syoukai/

AED設置箇所

市役所のホームページから河内長野市が管理しているAED(自動体外式除細動器)の設置箇所をマップングしました。

AEDは電気ショックが必要な心臓の状態を判断でき、心臓に電気ショックを与える器械です。突然死の死因のほとんどは心臓疾患で、その大部分は「心室細動」という心臓の病気となつていきます。早期の除細動(心臓への電気ショック)ができるAEDの使用が必要となり、素早い除細動は患者の社会復帰の鍵にもなります。

AEDを医療機関はもちろん、学校、たぐさんの人が集まる公共の施設など様々な場所に置き、万が一の時、AEDを使うことで、突然死を防ぐことができるのです。

民間で設置しているAEDの調査は今後の課題とします。



Automated External Defibrillator

人材バンク情報

災害時において地域で活躍が期待できる専門的技術を持った人を事前登録しておく、人材バンクの設置を進めています。

当「人材バンク」は求人・求職のためのものでは有りません。さらにボランティアの募集や登録でもありません。

平時に「近くにこんな人が居る」との理解を深めるために人材バンクを活用してください。

ひとたび、災害が発生した時には、「人材バンク」の情報を出して、なりふり構わず「近くに居る人」に「真つ先に支援をお願いしてください」。

引き続き、松ヶ丘西町からHさんを人材バンク第3号として登録させていただきました。

Hさんは小動物の扱いに慣れておられます。家族同様に一緒に暮らしている小動物を避難所等に連れて行く際には相談に乗っていただけるとはありがたいかと思えます。

お二人ともお医者さんではありません、医療に携わる専門の方が来られる間、お力を借りられたらと思います。

**第一号
登録**

**第二号
登録**

第一号に続き、松ヶ丘西町からKさんを人材バンク第2号として登録させていただきました。

Kさんは看護の経験が有りません。患者の痛みが理解できて親身になって相談に乗ってくれる方が医療の現場で力強い味方になるでしょう。

編集後記

まちづくり新聞の第九号をお届けします
メール kusunoki.info@gmail.com

<http://ksrd.jp/kusunoki/> つながる会 検索